

あomorい法人 かわらばん

197号

令和6年1月1日

年4回発行

(4.7.11.1月)

発行 公益社団法人 青森法人会 TEL 775-2580

青森市橋本二丁目13番5号 グランスクエア青森5階 創刊 昭和49年7月1日

URL <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>税に強い経営者が
次世代を支える!

賀春

令和六年 元旦

公益社団法人 青森法人会

会長 林 均

筆頭 今 良 暢

副会長 阿 部 吉 平

副会長 米 谷 恵 司

新年のご挨拶

会長 林 均

年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが「5類に移行」と決定したことも後押しとなり、会員皆様のご協力によりコロナ禍以前の事業運営を回復できましたことに感謝申し上げます。

さて、昨年、日本漢字能力検定協会主催の世相を表す漢字に「税」が選ばれました。増税議論が活発に行われたほか、定額減税やインボイス制度といった「税」にまつわるテーマに関心が集まったことなどが理由で、消費税率が5%から8%に引き上げられた平成26年以来2度目の選出となりました。税の啓発団体である法人会にとって、国民の関心が税に向くことは大変喜ばしいことです。

そして12月、令和6年度税制改正大綱が閣議決定されました。所得税減税と給付、扶養控除と子育て支援、賃上げ税制

で中小企業を支援、防衛増税は先送り、などが注目されますが、今後国会で審議し3月までに詳細が決まります。

県内では、人口120万人割れ、中国による県産ホタテ・なまこの輸入禁止、猛暑による米・リンゴ・水産物への影響、老舗企業の倒産などがありました。一方で、夏祭りの通常開催、クルーズ船の過去最多の寄港、オカムラ食品工業の東証上場などの話題がありました。

そして今年は当地区において、青森駅東口ビルや青森市アリーナの完成、ガラータウンに大手ディスカウントストア・映画館の開業など予定されており、地域の活性化につながるものが期待されます。

当会においては、青年部会が「設立30周年」を迎え、昨年12月、記念事業として青森市内全小学校に租税教育に資する図書を寄贈しました。年が明けて1月は



八甲田樹氷

親会が二つの地域貢献事業を行います。まずは「市民図書館への図書贈呈」で、平成12年に始まり、今年度で紙芝居739巻、書籍740冊の寄贈となります。もうひとつは「新春お楽しみ会」で、平成10年から25年間、落語や音楽などを多くの方に楽しんでいたたいております。

このほか、例年同様の活動に加えて、会員企業の要望などを取り入れながら事業発展のお役に立てるような活動を行って参ります。

そのためには、組織の基盤である会員数の維持・拡大と、法人会の活動を支えている福利厚生制度の拡充が重要となります。ですのでご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご多幸と事業の健全な発展を祈念して年頭のご挨拶いたします。

「令和6年度税制改正 提言事項」の提言活動



10月27日（金）、青森市役所において、林会長、今筆頭副会長、米谷副会長が、青森市長に対して、「令和6年度税制改正提言事項」の提言活動を行った。

西 秀記市長との面談では、税・財政改革のあり方、経済活性化と中小企業対策、地方のあり方、租税教育の充実、地方税関係などに関する提言の内容を説明し意見交換を行った。

（※令和6年度税制改正提言事項の内容は全国法人会総連合のホームページに掲載）



「税を考える週間」関連行事

◆記念講演会

11月14日（火）、ホテル青森において、当会、青森青色申告会、青森間税会の3団体共催による「税を考える週間」記念講演会を開催した。3団体合せて68名が出席し、当会、今 良暢筆頭副会長の開会挨拶に続いて、青森税務署の最上 治署長が「ザ★マルサ」申告納税制度最後の「若」と題して講演を行った。

査察調査の流れ、世間を騒がせた過去の脱税事件、隠匿事例などの紹介や令和4年度の査察の概要として、検察庁に告発した件数が103件で告発率は74.1%の高水準となったこと、また、消費税事案、無申告事案、国際事案、社会的波及効果の高い事案を積極的に告発したことなど、興味深いお話を聞かせてくれた。

また、講演終了後は、最上署長はじめ税務署幹部を交えた懇親会を行った。



11月11日～17日の「税を考える週間」に関連して、次の行事を開催した。

◆優良経理担当者表彰

11月8日（水）、ホテル青森において、令和5年度優良経理担当者表彰式を開催した。会員企業から推薦のあった優良経理担当者4名および所属企業の役員3名が出席し、林会長から表彰状と記念品が贈られた。ご来賓の青森税務署の最上 治署長からお祝いの言葉が述べられ、その後、意見交換および昼食会を行った。



受賞者は次のとおり。
渡部 浩美 様
（株）アール・エー・ビーサービス
関 正樹 様
（新生測量計画）
柿崎 由里子 様
（株）川島隆太郎建築事務所
坪 綾香 様
（株）山正小笠原建設

青年部会

◆税金ウルトラクイズ



青年部会（佐藤一尚部会長）は、11月18日（土）、サンロード青森イベント広場において第27回税金ウルトラクイズを開催した。この事業は、青森税務署の協力、青森市教育委員会、青森PTA連合会などの後援をいただいた。

き、小学生やその家族、一般の方に税への関心を持ってもらうために行っている税の啓発活動である。5年生・6年生が2名でチームを組み、昨年の8チームから倍増の17チームが参加し、珍問や難問も交えた税に関する様々なクイズに学校の友達や家族、買い物客の応援を受けながら熱戦を繰り広げた。表彰式では佐藤

部会長から賞状と賞品の授与が行われ、最後に、青森税務署の最上 治署長から講評・挨拶をいただき終了した。（結果は次の通り。「」内はチーム名）

◆優勝 「はるさめスーパ」 （三内西小）
準優勝 「チャイルドフレンド」

◆第3位 「児童会組」 （横内小）
◆第4位 「ネコランドリー」 （新城中央小・浪打小）

◆敗者復活賞 「Kリーダーズ」 （横内小）

また、会場で、「税の使途アンケート」を行い、子育て支援、医療の充実、介護福祉・社会保障、公共事業、災害復旧、の中から選んでもらったところ、小学生は「医療の充実」、大人は「医療の充実」と「災害復興」を希望する回答が多かった。



慶祝

叙勲・褒章 黄綬褒章

当会会員 相馬 真二氏

(株式会社相馬塗装店 代表取締役)

当会会員 西田 司氏

(株式会社西田酒造店 代表取締役)

叙勲・褒章 藍綬褒章

当会会員 来海 伸博氏

(アークコンサル株式会社 取締役会長)

当会会員 兼平 義弘氏

(有限会社 兼平会計 代表取締役)

叙勲・褒章 旭日双光章

当会会員 柿崎 忠雄氏

(青森総合警備保障株式会社 代表取締役会長)

納税功労 会長

林 均氏

(青森三菱電機機器販売株式会社 代表取締役社長)

納税功労 理事

青森税務署長表彰 黄金崎 亨氏

(株式会社黄金工務店 専務取締役)

セミナー開催

1. 青森総合卸センター税務研修会

11月20日(月)、問屋町会館において当会と協同組合青森総合卸センターの共催による税務研修会を開催した。テーマは「電子帳簿保存法」 「年末調整について」で、令和5年度の税制改正による電子帳簿等保存制度の見直しの概要の説明、年末調整手続きの前年度との変更点、



2. 年末調整説明会

11月27日(月)、ホテル青森において年末調整説明会を開催した。

昨年と比べて変わった点、年末調整の手続、年税額の計算のための準備、年末調整の電子化などについて青森税務署の法人課税部門担当が説明した。(参加者19名)



3. 新設法人説明会

12月12日(火)、青森税務署において青森税務署との共催による新設法人説明会を開催した。会社にかかる税金、中小法人の優遇制度、源泉徴収、消費税など、会社経営に必要な基礎的な税務知識について、青森税務署の法人課税部門担当が説明した。(参加者25名)



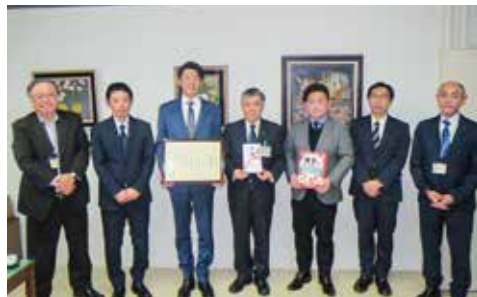
4. 会社取引をめぐる税務

12月15日(金)、ホテル青森において開催し、税理士の泉谷博之氏が、決算と申告の関係、収益の計上時期と原価の計算、資産にかかる税務、会社経費と税務などについて説明した。(参加者25名)



青年部会

設立30周年記念事業「図書贈呈」



青年部会(佐藤一尚部会長)は設立30周年記念事業として、青森市内全小学校に図書を寄贈した。

寄贈図書は、「キホンがわかる!税金とわたしたちのくらし 税金のしくみ」で、「税金は何のためにあるか」「税金の種類」「集めた税金の使い道」などを絵や図などを交えながら説明しており、児童に対する租税教育に資する内容となっている。令和5年12月22日(金)、佐藤一尚部会長、高橋寿典副部会長、大柳宏和副部会長、吉田崇副部会長の4名が青森市教育委員会を訪問し、工藤裕司教育長に寄贈目録書を

女性部会

健康セミナー「バランスボールレッスン」



お渡しし、教育長から感謝状をいただいた。女性部会(田中桂子部会長)は、12月4日(月)、リンクステーションホテル青森において「バランスボール」を体験した。バランスボールは手軽にできて腰痛予防やメタボリックシンドロームの改善に効果があるとされており、バランスボールインストラクターで(株)vimvory代表取締役の二木久美子氏が講師を務め、ボールの使い方や体力メンテナンスのお話、音楽に合わせたエクササイズを行い、参加者は日頃の運動不足や疲れを癒した。

経理研究会

経理研究会(今 良暢会長)は次の通り例会を開催した。

●第410回例会 10月17日(火)

テーマ 「電子帳簿保存法について」
講師 青森税務署

審理専門官 田代 英紀氏

●第411回例会 11月21日(火)

テーマ 「社会保険の適用拡大と人手不足対策」
講師 社会保険労務士 本田 淳也氏

●第412回例会 12月19日(火)

テーマ 「最近の経済情勢について」
講師 東北財務局 青森財務事務所
財務課長 中村仁彦氏



青森法人会の事業の予定

青森市民図書館への図書贈呈式

令和6年1月23日(火) 午前11時(青森市役所)

新春お楽しみの会

令和6年1月26日(金) 午後6時(ホテル青森)

西尾夕紀 歌唱&ものまねライブ

申込受付中です

決算法人説明会

令和6年2月2日(金) 午後1時30分(ホテル青森)

令和6年3月22日(金) 午後1時30分(ホテル青森)

経理研究会・例会

令和6年2月20日(火) 午前11時(青森県食糧会館)

インボイス制度Q & A

令和6年2月26日(月) 午後1時30分(ホテル青森)

第43回理事会

令和6年3月8日(金) 午後3時(ホテル青森)

ビジネスマナー講座

令和6年3月12日(火) 午後1時30分(ホテル青森)

現在開催計画未定の事業が開催されることもありますので、
それを含め詳しくはホームページをご覧ください

アドレス: <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>

広報紙では、当会の活動を紹介しています。

研修会・講演会等には、会員以外の方も参加できます。

事務局まで申し込みください。

青森法人会事務局 電話 017-775-2580 FAX 017-773-5644

青森税務署からのお知らせ

令和6年4月から
国税のダイレクト納付
(e-Taxによる口座振替)が
ますます便利になります!

申告データ送信に合わせて、口座引落としによる納付を
あらかじめ設定することができるようになります。

国税の納付手続は
こちらから

令和5年4月から
地方税のお支払いが
簡単・便利になりました!

納付書に「e!マーク」があれば、地方税お支払いサイトや
スマホ決済アプリが利用できます。
※「e!-QR」(QRコード)、「e!番号」(納付書番号)の
いずれかの記載があれば利用できます。

地方税の納付手続は
こちらから

新会員を
募集中です!

経営に差がつく・税の知識が身につく・人脈が広がる

お知り合いの経営者を
ご紹介ください!!

(事務局にご連絡をいただければ説明に伺います)



会員の皆様へ 住所、代表者などの変更がありましたら、お手数ですが事務局へご連絡願います。

法人会会員みなさまに

法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

keep moving
forward

数多の人を繋いだ道。
これから前進を。

法人会の「経営者大型総合保障制度」は1971年に創設されました。
想いをつないで50年。これまでも、これからも企業の繁栄を
サポートしつづける経営者大型総合保障制度です。

DAIDO 大同生命保険株式会社

きた東北支社/
青森県青森市奥野1-11-10
TEL 017-735-7030

AIG AIG損害保険株式会社

青森支店/
青森県青森市本町1-2-15
(青森本町第一生命ビルディング)
TEL 017-777-3531

謹賀新年

今年も法人会の福利厚生制度の普及を通じ
会員企業の役員・従業員とそのご家族の皆様へ
安心をお届けしてまいります

本年も何卒よろしくお願い申し上げます

令和六年



〈引受保険会社〉

青森支社

アフラック

〒030-0802青森県青森市本町1-2-15
青森本町第一生命ビルディング

法人会用フリーダイヤル ☎ 0120-876-505

受付時間/9:00~17:00(土日祝日除く)

今、求められる 管理職のリスキリング

株式会社ジェイック

取締役 古庄 拓

最近目にする「リスキリング」とはデジタルスキルの習得だと思われがちだが、中小企業が成長するうえで必要なのは、管理統制・トップダウン・説得中心の昭和型マネジメントから、対話重視で部下の主体性や強みを引き出す令和型マネジメントに切り替える「リーダーシップのリスキリング」だ。

職像と現在の管理職像とでは求められる度合いが大きく変化した項目がある。

たとえば「管理職には対話のコミュニケーションが求められると思う」は20年前の管理職像32%↓現在の管理職像53%と21ポイント高い。逆に「管理職には部下の管理と統制が求められる」は49・5%↓23・5%と26ポイント低下、「管理職にはトップダウンの進行が求められると思う」も39・5%↓14・5%と25ポイント低下した。

令和のマネジメントで押さえるべき3つのポイント

①対話力の向上

昭和の時代は「上司の指示に従いなさい」「仕事は見て覚えなさい」という指導が基本であり、背景には、「上司に従っていけば、いずれ役職や待遇がついてくる」という動機付けがあった。しかし、今の若者は役職や待遇だけでは動かない。また、見て覚えるというやり方は「生産性が低い」と思われてしまう。従って、部下と対話しながら動機付ける、目的やプロセスを分かりやすく教えることが重要だ。

わってきている。

②強みを生かす育成力

昭和型のフィードバックは部下の課題や弱みを指摘し、奮起を促すことが主流であった。しかし、現在は課題を指摘するだけのフィードバックは自信を失わせ、成長を妨げてしまうこともある。現在も課題克服が必要な場合はあるが、従業員の強みを見いだし、最大限に生かすマネジメントを軸とした方が効果的だ。

③ボトムアップ型のチームビルディング

昭和の管理職には部下を管理統制する力が求められた。しかし、今は上司が正解を知っているとは限らない。現場に近い部下のほうが顧客ニーズや最新動向をつかんでいる場合も多い。従って、上司には部下の考えや意見を引き出して意思決定するボトムアップ型のマネジメントが求められている。

今の管理職に求められる力

令和の時代に組織のパフォーマンスを高めるには、

上司が一方的に指示・命令・フィードバックをするのではなく、対話を通じて、部下の声に耳を傾け、強みを生かして動機付けるマネジメントが重要となる。人手不足が進行する中で部下のパフォーマンスを高められていない管理職には、令和型マネジメントの3要素「対話力の向上」「強みを生かす育成力」「ボトムアップ型のチームビルディング」を身に付けてもらうことが必要だ。

【筆者紹介】

古庄拓（ふるしょう・たく）
1983年生まれ。慶應義塾大学卒業後、株式会社ジェイックに入社。中小企業・ベンチャー企業を対象とした社員研修や採用支援の提案・企画、管理職養成プログラムの立ち上げ等を経て、同社取締役。人材育成や採用支援の知識・ノウハウを発信している。

牛乳を「食べる」

食品ロス問題ジャーナリスト

井出 留美

スーパーでよく見るのが、

牛乳売り場で商品棚の奥にある新しいものから取っていくお客さんです。奥から先に取ると、手前にある期限が迫ってきたものが売れ残り、無駄になってしまいます。売れ残り食品の処理方法は自治体によって異なりますが、家庭ごとと一緒に焼却処分している自治体も多いです。売れ残った店が処理費を払うだけでなく、私たちが納めた税金も使って燃やされるのです。食品ロスを含む生ごみは、重さの80%以上が「水」。燃えにくいものを、巨額の費用と膨大なエネルギーを使って燃やしています。日本の一般廃棄物の処理費は年間2兆1499億円。すべて私たちが納めた税金です。なぜ怒らないのでしょうか？ 食べ物を燃やすために貴重な税金が使われていることに気付いて

ていないのでしょうか。

牛乳には賞味期限表示のものと消費期限表示のものがあります。高温殺菌牛乳は「賞味期限」、低温殺菌牛乳には短めの「消費期限」表示がされているものが多いです。以前、「牛から絞ったばかりの『生乳』が余ってしまうので1人1本飲んでください」と農林水産省が呼びかけたことがありました。多くの量を消費したいときには牛乳を「食べる」のもおすすめです。

牛乳を食べるとはどういうことでしょうか？ たとえばヨーグルトを作って食べることで。

私がコロナ禍以降続けているのがヨーグルト作りです。賞味期限や消費期限の近づいた牛乳が値引きされていたり、使い切れる分だけ買って

きます。ヨーグルト50gに対して牛乳500mlの割合で熱湯消毒した容器に入れて混ぜ、常温に置いておけば24時間前後で出来上がります。固まったら冷蔵庫に入れてジャムやシリアルを加えて食べます。私はドイツ製のガラス容器W E C K (ウェック)を使っています。

混ぜて固めるだけでできるのが牛乳プリン。1ℓの牛乳パックで作ります。牛乳400mlを耐熱性の器に入れ、ゼラチン20gと砂糖20gを加え、電子レンジに2分30秒かけてゼラチンと砂糖を溶かします。底にたまりやすいので泡立て器などでしっかり溶かします。1ℓの牛乳パックには500mlの牛乳を入れておき、注ぎ口を、上から見て正方形の形になるよう開けておきます。そこに、先ほど

のゼラチンと砂糖を溶かした牛乳を注ぎ、上の口を閉じて、冷蔵庫で冷やし固めるだけ。固まったら食べやすい大きさに切れば出来上がり。



牛乳プリン



インド風チーズ「パニール」

意外と簡単なのがインド風のチーズ「パニール」です。牛乳を火にかけて、レモン汁を加えてかき混ぜます。レモン汁は牛乳1ℓに対して大きじ2杯ほどです。牛乳が分離してきたらキッチンペーパーを敷いたザルでこして絞って出来上がり。カッテージチーズ

をさっぱりさせたような味でサラダにぴったりです。

賞味期限や消費期限の迫った牛乳があれば、牛乳を「食べる」発想で、ヨーグルトやプリン、チーズなどを作ってみませんか。シチューやドリアもおすすですよ。

【筆者紹介】

井出留美（いで・るみ）

奈良女子大学食物学卒、博士（栄養学／女子栄養大学大学院）、修士（農学／東京大学大学院農学生命科学研究科）。ライオン、青年海外協力隊、日本ケロッグ広報室長等歴任。東日本大震災食料支援での廃棄に衝撃を受け、株式会社Office 311を設立。食品ロス削減推進法成立に協力した。『賞味期限のウソ』（幻冬舎新書）、『捨てないパン屋の挑戦』（あかね書房）など著書多数。